



平成27年 6 月号

社会福祉法人翠浩会
障害者支援施設

新 光 苑

<http://www.shinkoen.net/>
〒360-0832 熊谷市小島527番地
TEL. 048-532-0665



人生も86才を過ぎますと、感動を憶える機会は極めて少なくなりそうです。

私は長男・長女の大学の入学式には、仕事が忙しくて出席しませんでした。孫（副苑長の長男）の東京

大学大学院の入学式には、会場が日本武道館で、戦後70年の節目として靖国神社に参拝したあと出席出来ませんので、どうしても望んでいました。

当日は春には珍しい激しい降雨で、地下鉄の九段下の駅から靖国神社に向いましたが、雨足が強く拝殿に着くまでの道程を長く感じました。

終戦後は時折参拝に来ていましたが、今回の参拝は何十年振りでしょうか。改めて靖国の社の威容な社殿に感激しつつ、祖国のために命を捧げられた御霊に対して、心からのお悔みとご冥福をお祈り申し上げました。私の世代の戦中派にとっては、靖国の英霊は極めて身近な存在です。あの戦争を共に戦った親近感と、不運にも命を落とされた無念さを感じる時、改めてそのような無謀な大戦に導いて行った指導者に対して、激しい怒りを憶えました。

帰途展示館に立寄り零式戦闘機を見て、航空機史上の傑作と云われた零戦でも、アメリカの後発のロッキードやグラマンには、性能や装備で太刀打ち出来ず、彼我の経済力の差が近代戦を制する

ことを、改めて痛感しました。
午後2時満員の日本武道館で入学式が開式となりました。

初めに東京大学 五神真学長より式辞があり「21世紀に入り、人類は、国家を超えた地球大の交わりが飛躍的に強まる時代を迎えている。

日本もまた、世界に自らを開きつつ、その特質を發揮して人類文明に貢献することが求められている。東京大学は、この新しい世紀に際して、世界の公共性に奉仕する大学として、文字どおり『世界の東京大学』となること、日本国民からの付託に応えて日本社会に寄与する道であるとの確信に立ち、国籍・民族・言語等のあらゆる境を超えた人類普遍の真理と真実を追究し、世界の平和と人類の福祉、人類と自然の共存、安全な環境の創造、諸地域の均衡のとれた持続的発展、科学、技術の進歩、および、文化の批判的継承と創造に、その教育、研究を通じて貢献することを、改めて決意する。この使命達成に向けて新しい時代を切り拓こうとするこの時、東京大学は、その依って立つべき理念と目標を明らかにするために東京大学憲章を制定する」以下略。

気宇壮大にして雄渾、日本の最高学府としての自信と責任の自覚、地球規模の視点に立っての人類の平和と繁栄の希求、人種を超えての共存と共栄、本日入学の四千人の俊英達が各分野に於いて、この目標に向かって勉強することを思う時、明日に向っての期待が全身に漲るのを憶えました。70余年前学業半ばにして戦場に散っていった靖国の御魂の鎮魂のためにも、人類の平和と幸せのために渾身の努力をされる事を心より願いつつ、帰途に

保護者会総会

5月30日午前11時30分より新光苑ホール棟を会場として、保護者会総会が開催されました。当日の出席保護者46名でした。

平川副会長の司会で、吉田会長より挨拶があり、続いて現役員の紹介、その後新規入所の保護者の自己紹介になりました。

次に平成26年度の会計報告を筑井会計より、吉屋監査より収支間違いありませんとの報告で可決されました。

平成27年度活動予定審議では、例年通り新光苑各行事について計30万円と、提案として納涼祭の花火への協賛5万円も可決されました。

総会開始時間は来年度から午前11時となりました。役員は全員再任で総会は終了しました。



次に西田苑長より施設の現況と今後の展望についての話があり、どのような状況になろうとも創立の理念を忘れずに、これからも利用者の幸せのために、全力で頑張りますとの決意が述べられました。

昼食は近くの食事処「みかわ」で会食となり同席の保護者同志で会話が拡がり、改めて保護者としての連帯を深めました。

食後希望者だけで新光苑物故者の眠る「東漸寺」に墓参に行きました。

墓所はきれいに清められていて、各人が心より物故者のご冥福を祈りました。

西田家の墓所にも立寄り、西田新君のご冥福を一心より祈りました。

毛呂山町民生、児童委員協議会の研修

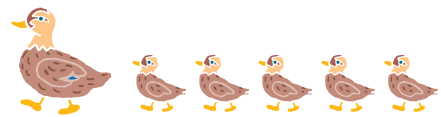
5月20日と22日、2班に別れて各35名ずつ、新光苑に施設研修に来られました。

午前9時30分到着、直ぐに新棟の会場にご案内し、横川副苑長より挨拶、西田苑長より新光苑の設立の沿革と特長について30分説明がありました。その後出品されている抹茶碗について「なんでも鑑定団」のビデオを見たあと、2班に分かれて美術館見学と施設見学をしました。

施設についての感想はキレイである、掃除が行き届いている、施設が大きく立派だ等、床暖房や自然採光には特に感心されていたようです。美術館については作品が多く、説明半ばで時間となってしまいました。

いずれにしても、従来の施設研修にない特色の施設ですので、これからの障害者福祉に対して参考になればと願っています。

（この文章は上記の段落と重複しているため、ここでは省略します）



次回は、8月15日の発行になります。

中堅職員キャリアパス研修 櫻井愛菜

5月11・12日の2日間で、社会福祉協議会主催の「中堅職員キャリアパス研修」に参加させて頂きました。経験年数3年〜5年の職員を対象としたこの研修の目的は、「中堅職員」としての後輩指導や問題解決等において期待される役割、資質向上を図る事でした。

8つの研修カリキュラムに取り組んだ中で、中堅職員は上司からの指示を忠実・着実にやり遂げる事と後輩職員の良き手本を示し、必要に応じて適切なアドバイスを提供する事の2つを兼ね備えた「メンバースhip」の発揮が大きく求められる事を学びました。これを発揮するには、後輩に対して一日一度の声掛けや個人的な面に関心を持つ事等のコミュニケーションが重要であり、また仕事の教え方一つにも方法があつて、それを実践していく事が大事であるとの事でした。

また、中堅職員は非定型的な仕事が多くなり、突発した事態への適切で迅速な対応も必須となつてきます。しっかり対応できるように充実した仕事の為には、プラス思考を身に付ける事と現在、社会的にも重要視されている仕事と家庭・地域活動のバランスに配慮した「ワーク・ライフ・バランス」の実践、後輩や同僚への推進も役割として挙げられました。自身の立場や行動、モチベーション等が全て後輩の成長や組織の良し悪しに影響があると改めて感じました。

業務課題や利用者支援の中では、問題を見逃さない姿勢が重要で、マンネリ化したルーティン業務にならぬよう、率先した「気付き」が求められます。利用者支援では意志や強みに気付

き生かす事、業務ではマニュアルを定期的に見直し、問題を早期発見し改善していく事が大事であり、これを行なっていく事で、自然とリスクの予防・低減にも繋がってくるのだと学びました。

その他にも他職種連携の中心として情報・意見交換をしていく事、直接的な管理者の補佐をする役割を担う事を見据え、業務に関係する制度の知識を習得していかなければならない事も学びました。

脱水予防研修 塩谷佳奈

平成27年6月4日(休)職員会議内で脱水予防についての研修が行われました。

人間の体に必要な一日の水分量の説明から始まり、脱水になった場合の対応方法、脱水にならない為に注意することなどを学びました。一日に約2000ミリリットル前後の水分が汗などで体内から失われるという説明があると、「2000ミリリットルも」という驚きの声があがりました。私達はのどが乾いたら水分が摂取出来る環境ですが、利用者の方は自ら請えることが出来ない方が多いため、研修で学んだことを念頭におき、こまめな水分補給と利用者の方の体調の変化に気づけるよう、注意しなければいけないと改めて感じました。

今後も様々な研修が予定され、研修で学んだことを利用者の方の生活に生かしていきたいと思えます。

大麻生中学校運動会に参加して 櫻井愛菜

5月23日(土)、絶好の運動会日和の中、大麻生中運動会に参加してきました。迎えに来てくれた中学生と期待を胸に一緒に向かいました。

到着すると中学生の大歓声を受けながら、車イスリレーに参加しました。3チームに分かれ皆自分が1番になろうと一生懸命競いました。中学生の温かい応援を受け、より力強く走りました。1位になったチームの利用者の嬉しそうな表情、下位だったチームの悔しそうな表情と様々な顔が見られました。

競技後は中学生の競技を見学し、たくさん応援をしました。帰りは中学生の長い列で作られたアーチの中を皆晴れやかな笑顔で帰ってきました。疲れた様子もなく仲良く中学生と話ができ、とても充実した運動会となりました。



次回は、8月15日の発行になります。

埼療協ゲーム交流会

濱 優太郎

5月22日に埼療協ゲーム交流会に行ってきた。新光苑からは、前島様、平川様の2名が参加されました。

交流会の内容は、ボーリング大会でした。スロープ式の道具を使い、他施設の利用者様とスコアを競い合いました。スロープ式の道具を使うと、思ったよりもボールに勢いがつかず、おしくもストライクを逃がす場面が何回もありました。前島様も平川様も作戦を考えながらボールを投げ、一生懸命頑張っていました。自分も利用者様とボールと一緒に投げ、高スコアが出た時は一緒に喜んでいました。

結果、前島様が見事3位入賞を果たしました。ボーリングを通し、利用者様と笑い合い、楽しくて充実した一日を過ごす事が出来ました。



埼玉県身障協スポーツ交流会

児玉尚子

天気に恵まれた5月24日に埼玉県身障協スポーツ交流会に行きました。新光苑から参加されたのは矢島様、田中烈様、岩井様、吉屋様、吹浦様、榎本様と応援係の筑井様を含めた7名でした。

交流会の中で手動車イスの岩井様、吉屋様、吹浦様の3人は「50m走」で、ゴールに向かって真剣にこいでいました。電動車イスの矢島様、田中烈様、榎本様は「スラローム」で、車イスを巧みに操っていました。全員が参加した「ピョンバック」も全力を出し切って投げていました。応援係の筑井様も大声で頑張れと声援していました。

一日を通して全利用者の方が互いに声を掛け合い頑張った日になりました。



今井チーフの退職にあたり

太田久美



給食委託業者メリックス(株)の今井チーフが5月末で退職されました。今井チーフは長い年月に渡り、新光苑の給食を支えて下さいました。

利用者の皆さんのみならず職員までもの食事を一人ひとり覚え、常に皆さんの事を気遣っておられました。利用者さんも職員さんもお体にお気をつけてとの事です。今後は新しい江森チーフにがんばって頂き、今まで以上においしいお食事をご期待ください。



編集後記

梅雨に入り鬱陶しい日が続いています。庭の紫陽花は、雨に打たれて、今が盛りと咲いています。

もうすぐ猛暑が訪れますが、体に気を付けて乗り切りましょう。

